

「思考力や想像力を働かせながら読む」ワークシート 『少年の日の思い出』

記入例

学習日 年 月 日
組 番

登場人物の心情を読み取る

の場面を読んで、次の手順で「僕」と「エーミール」の心情を対比して読み取る。

〔手順〕

- (1) 「母」の言動に蛍光ペンで印を付け、そのときの「母」の心情を考える
- (2) 「僕」の心情が表れている表現に蛍光ペンで印を付ける。
- (3) 「エーミール」の心情が表れている表現に蛍光ペンで印を付ける。
- (4) 印を付けた記述を基に、「僕」と「エーミール」の心情を想像し、「心の声」として書く。



「母」の言動から分かる
気持ちを書いておこう。

自分の過ちは自分で償わなくてはなりません。

の場面

表現の特徴や表現の
工夫に気付いたら書
きとめておこう。

本文については、
東京書籍 1年指導書
光村図書 1年指導書
資料編 CD-R 「本文」のデータを
挿入して使ってください。

このワークシートには、
〔東京書籍〕
教科書 P131 7行目～P133 15行目
を挿入してお使いください。
〔光村図書〕
教科書 P163 11行目～P166 16行目
を挿入してお使いください。

そしてちようを一つ一つ取り出し、指で粉々に押しつぶしてしまっ

僕

エーミールは、僕のことを許さないだろうし、エーミールにだけは自分の過ちを知られたくない。

エーミール

大事に育てたクジャクヤママユを盗んで、そのうえつぶしてしまっなんて、なんてひどいやつなんだ。彼にはちようを集める資格なんてないよ。

分かってくれないと思うけど、盗むつもりやつぶすつもりはなかったということの説明しよう。

僕宝物を全部あげるから許してほしい。

このときの「僕」がどんな気持ちでちようをおしつぶしたのかを、これまで読み取った心情を基に自分の言葉でまとめさせます。